

2020年度 交換留学生募集(第1回) 対象学科・学年、推薦人数、留学期間

以下の表より、対象学科・学年を確認すること。

B: 派遣時に学部3年生 ※

M: 派遣時に博士前期(修士)課程1年生 ※

※“B”が記載されている協定校へ学部4年生時に交換留学を希望する者、あるいは“M”が記載されている協定校へ修士2年生時に交換留学を希望する者は、卒業・修了制作時期と留学時期が重なることについて、研究室・担当教員に十分に相談したうえで、許可が得られれば応募可能です。

募集	協定校名\学科・専攻・領域名	グラフィック	プロダクト	テキスタイル	環境	情報 (メ芸・情D)	推薦人数	留学期間(1学期)*1	
第1回 (10月選考)	ベルリン芸術大学 建築・メディア・デザイン学部 (ドイツ)		B				1名	2020年10月～2021年2月	
					BM (建築のみ)		1名		
						BM	1名		
		グラスゴー美術学校 (イギリス)			B*2			1名	2020年9月～2021年1月
		オスロ国立芸術大学 (ノルウェー)			BM			1名	2020年8月～2020年12月
		ヨーテボリ大学 (スウェーデン)		BM*3				1名	2020年9月～2021年1月
		シンシナティ大学 (アメリカ)		B				1名	2020年8月～2020年12月
		チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ (イギリス)			B			1名	2020年9月～2020年12月
		ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン (アメリカ)	B*4					1名	2020年9月～2020年12月
			B			1名	2020年9月～2020年12月		

注: *1: 派遣時期については、先方の都合等により変更となることがあります。

*2: 学部2年生も応募可能です(申請時に学部1年)。

*3: 修士学生についてはChild Culture Designプログラムのみ応募可能です。

*4: ①Graphic Design, ②Illustration, ③Film/Animation/Videoの3プログラムのみ応募可能です。

2019年7月27日

学生各位

多摩美術大学
国際交流センター

2020年度 交換留学生募集要項 (第1回)

1. 交換留学制度について

本学と学術交流協定を締結している海外協定校に派遣するため、以下の通り本学から推薦する学生を募集する。多摩美術大学での学内選考を通過した者は本学の推薦のもと、協定校に対し交換留学の応募をすることができる。

応募書類を協定校に送付し、先方から正式に受入の内定を得た者が、交換留学生として派遣される。(応募先の協定校での審査結果によっては、学内選考の結果に関わらず受入拒否となる場合があるのでよく注意すること。) 交換留学生に選ばれた者は、本学へ授業料を納めれば、留学先での学費は全額免除される。

2. 交換留学対象校、本学対象学科・学年、推薦人数、留学期間

別紙「2020年度 交換留学生募集 (第1回) 対象学科・学年・推薦人数、留学期間」を確認すること。

※今回の募集 (第1回) で合格した者は、2020年度の第2回以降の募集に応募することはできなくなる。

応募資格

- ① 対象学科・学年に所属する学生であること (原則として応募時点で学部2年生、または本学大学院に進学する意思のある学部4年生)。グラスゴー美術学校については、応募時点で学部1年生の応募可。
- ② 学部4年次・修士2年次での留学を希望する学生については、交換留学開始までに卒業要件科目を全て取得していること (ただし、最終年度に開講されている科目で、交換留学中の単位認定対象となるものを除く)。交換留学直前までに同条件を満たせなかった場合、交換留学の資格を取り消す、もしくは出発後に留年となる可能性がある。
- ③ 美術研究科修士課程での留学を希望する美術学部4年生については、本学の修士課程入学試験に合格し、進学すること。また、交換留学期間が終了した後、本学で修士課程を修了する意思があること。
- ④ 留学先で授業を受けるのに支障のない程度の語学力 (英語もしくはその他の現地語) があること、または派遣時まで向上させる意思があり、能力的にもそれが見込めること。

英語力の目安については、英検2級/TOEIC 520点/TOEFL iBT 53点/IELTS 4.0以上を学内選考への応募時点で取得していることが望ましい。

※シンシナティ大学に応募する者は、(1) TOEFL iBT 61点以上 (リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング各部門それぞれ15点以上)、IELTS 6.0以上 (リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング各部門それぞれ5.5以上)、PEARSON 46点以上を同大学へ書類を送付する時点までに取得すること、もしくは(2) アメリカ合衆国の高校・大学に1年以上在学していたことが応募条件となっているので注意すること (他の英語試験での代替は認められない)。上記スコアに足りない点数で学内推薦を得た者でも、先方大学に応募するまでに規定のスコアを得ることが出来なかった場合は、学内推薦資格を失うので注意すること。

- ⑤ 心身ともに留学生活に適応できる健康状態であること。

※留学生活に適応できないと大学から判断された学生は、派遣交換留学が取り消される。

⑥ 渡航費および滞在費等を自己負担できること。

申請する学校によっては、渡航前に一定の留学費用を現金で用意する必要がある。例えば、オスロ芸術大学に応募をする場合、VISA 申請のために、60,610NOK*を先方大学の銀行口座に一時的に振り込まなければいけない。これは現地で長期的に生活することができる経済基盤が整っていることを証明するための重要なプロセスであるため、学生は事前に保証人と相談する必要がある。くわえて、渡航国によって物価に大きな差があることにも留意すること。

*2019年5月現在の情報。1NOK=12.6JPY 計算で約 763,700 円。後日全額返金されるが、一括で納めなければいけない。

⑦ 本学への学費を滞納していないこと。

⑧ 応募者が保持するパスポートの国籍欄に記載されている国／地域の協定校への応募は認められない。

⑨ (a) 応募時の年度の進級判定会議において留年が確定した者、もしくは (b) 派遣時の年度に休学をしている者は応募資格を喪失する。

※応募時の年度に休学をしている者については公平性を期すために、他の応募者同様に①本要項で指定する方法で応募書類を提出し、②指定された日時に本学八王子キャンパスで選考面接を受け、③合格後は本学でのオリエンテーションに参加することを条件に応募を認める。したがって、郵送での書類提出や skype 等における遠隔地での面接は認めない。

3. 単位認定

本学が適当と認めた留学中の成果に基づき、留学期間に本学での授業科目を履修したものとしてみなすことができる。その際、単位認定科目については原則として所属学科の進級必要要件科目に限る。

留学先での成果を示すため、派遣先での成績証明書、制作物、留学体験レポート等を本学の所属学科研究室に提出する必要がある。

4. 応募について

*「ステップ1：メール登録」、「ステップ2：応募書類提出」の2段階の手続きを期間内に必ず行うこと。

ステップ1 下記内容を Email で送信・登録

宛先：intl-ex@tamabi.ac.jp

タイトル：「交換留学応募登録メール（第1回）」

本文：(1) 学籍番号

(2) 所属学部、学科、専攻、コース

(3) 学年

(4) 氏名

(5) 氏名フリガナ

(6) 推薦書を依頼する教員名

(7) 応募する協定校名

(8) 携帯電話番号 [なければ自宅の電話番号]

(9) Email アドレス [毎日確認ができ、かつ添付ファイルが受け取れるもの]

登録期間：2019年10月1日（火）～2019年10月8日（火） 16:30 必着

ステップ2 応募書類の提出

下記①～⑨を出願期間内に提出すること。応募する協定校によって提出書類が異なるので注意。

- ① 国外留学願
 - ・指定様式を本学公式サイトからダウンロードすること。
- ② 志望理由・履修計画書（和文）
 - ・志望理由と履修計画を両方あわせて指定用紙に記入すること。
 - ・履修計画には「協定校で学びたいこと」、「制作したいこと」を記述すること。
- ③ 志望理由・履修計画書（英文）
 - ・志望理由と履修計画を両方あわせて A4 サイズ用紙に印刷すること。
 - ・②と同じ内容を英語にしたものとする。
- ④教員の執筆した推薦書（和文）
 - ・指定様式を本学公式サイトからダウンロードし、所属学科の専任教員に記入してもらうこと。他学科の教員や所属学科の客員教授、非常勤講師による執筆は認められない。
- ⑤成績表（和文）
 - ・Campus Square から最新の成績表を発行し、A4 サイズ 1 枚に印刷して提出すること。
- ⑥英語能力を証明する書類の写し
 - ・過去 2 年以内に受験した試験の証明書以外は認められない。
 - ・英語圏以外への留学希望者については、現地公用語能力を証明する書類の提出も可とする。
 - ・シンシナティ大学の応募者は、指定する英語スコアもしくはそれに近い点数の証明書を提出すること。
- ⑦健康診断書
 - ・学内の自動発行機で発行したものを提出すること。
- ⑧保証人同意書
 - ・指定様式を本学公式サイトよりダウンロードし、保護者により記入・捺印されたものを提出すること。
※保証人が海外在留中の場合は、署名・捺印した同意書のコピー提出でも可。
- ⑨作品資料
 - ・面接時に持参するポートフォリオや作品のうち 3 点を選び、A4 用紙 1 枚に 1 作品、計 A4 用紙 3 枚を提出すること。
 - ・1 作品につき、カラー画像を各 2～4 枚掲載すること。
 - ・作品のタイトル、作品の説明文（和文で 5 行程度）を各用紙に記載すること。
 - ・用紙 3 枚とも学籍番号、学科・専攻、学年、氏名を一番下に記載すること。
 - ・上記内容はすべて片面印刷とすること。（表面に画像、裏面に文字など両面印刷の資料は受け取らない）

提出先： 国際交流センター（八王子キャンパス 本部棟 2 階）

提出締切： 2019 年 10 月 11 日（金）16:30 まで

※ステップ 1 の登録が完了していない者については、応募書類を受け付けない。

※出願期間を過ぎた提出は一切認められない。

※郵送での提出は認められない。

5. 書類審査（1次審査）について

応募者多数の場合は、応募書類による 1 次審査を行う。審査結果については、10 月 21 日（月）までに応募者本人に Email にて通知。

6. 選考面接（2次審査）について

1次審査を通過した者について、選考面接（2次審査）を行う。その際、応募者は以下の注意事項を確認のうえ、ポートフォリオ、作品を持参すること。

- ・ポートフォリオの様式は自由。
- ・各作品について、簡単な説明を書き記すこと（日本語・英語併記、もしくは日本語・現地語併記）。
- ・映像作品の場合は、5分以内に編集し、選考面接時に自分のノートPCを持参して発表すること。
- ・面接時間の都合上、映像を全て発表できない可能性があるため、発表方法は工夫すること。

英語面接について

選考面接において、一部英語での面接を実施する。応募者は下記の項目について英語で説明・応答できるよう準備すること。

- ・自己紹介
- ・交換留学先大学を選んだ志望動機、またそこで何をしたいかの説明
- ・自分の専攻分野を選んだ動機・理由
- ・面接日に持参するポートフォリオ・作品のうち、代表作1点のコンセプト・背景説明

※面接本番では原稿やメモを読み上げることはできない。

※上記以外のことを面接で聞くこともある。

選考面接（2次審査）日： 2019年10月28日（月）※予定

※時間・場所などの詳細は、書類審査（1次審査）の通過者において連絡する。

選考面接（2次審査）結果

2019年11月8日（金）までに電話またはEmailにて応募者全員に連絡する。

※提出物（出願書類、ポートフォリオ）、英語力、選考面接の結果を総合的に評価し、本学を代表する派遣交換留学生としてふさわしい者が選定される。

7. 協定校への出願書類提出（2次審査合格者）

2020年3月～4月（協定校により異なる）

8. 協定校での選考（3次[最終]審査）

2020年4月～6月（協定校により異なる）

9. 協定校からの選考結果通知

2020年5月～6月（協定校により異なる）

10. その他

- ① 教職課程を履修している者については、在学中に免許を取得することができなくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- ② 学芸員課程を履修している者については、在学中に免許を取得することが難しくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- ③ 派遣先での宿舎は、学生個人で探さなければならない。英語やその他現地語で派遣先の住宅担当部署や現地の不動産業者等と直接やりとりをする必要があることを留意すること。

- ④ 派遣先への入国に必要なビザ申請等の各種手続きは、学生個人で行う必要がある。都内にある現地国の大使館等に相談した上で、各自手続きを進める必要があることを留意すること。
- ⑤ 派遣学生は、渡航前に本学が指定する保険（学研災付帯海外留学保険）に加入しなければならない。正当な理由があり、本学が指定する保険に加入しない場合は、本学が指定する補償内容をカバーした十分な保証内容の保険に加入しなければならない。クレジットカードに付帯されている保険は不可。
- ⑥ 派遣先大学からの受入承諾書が発行された派遣交換留学生に対して、多摩美術大学交換留学生奨学金を給付する（参考：昨年度給付額 200,000 円）。
- ⑦ 派遣時に日本学生支援機構の奨学金を受けている学生は、学生課での手続きが必要となる。
- ⑧ 日本学生支援機構から第二種奨学金の貸与を受けていない派遣学生は、新たに日本学生支援機構から第二種奨学金（短期留学、貸与）の申し込みができる。希望者は学生課に問い合わせること。
- ⑨ 派遣学生は留学体験レポート（用紙は国際交流センターが配布する）を提出する必要がある。また、次年度に実施する留学体験報告会での発表義務を負う。

【問い合わせ先】 国際交流センター（八王子キャンパス 本部棟 2 階）
Tel: 042-679-5605 / Email: intl-ex@tamabi.ac.jp

提出日： 年 月 日

国外留学願(第1回)

多摩美術大学学長殿

私は、多摩美術大学交換留学に関する規定に基づき、以下の通り留学したいので許可してください。

フリガナ	セイ	メイ	印	写真貼付 1. 半身脱帽、無背景 2. 縦4cm、横3cm 3. 3ヶ月以内に撮影したもの 4. カラーコピーの使用不可				
氏名	姓	名						
英語氏名 (パスポート表記)	(family)	(first)	(middle)					
生年月日	年齢	性別	国籍		学籍番号			
年	月	日	歳	男	女			
所属	大学院	美術	研究科	専攻	領域	年		
	大学	美術	学部	学科	専攻・コース	年		
現住所	〒	—	電話番号					
			携帯番号					
			E-mail					
語学力 (TOEFL,英検など)	試験名	スコア・級		受験時期				
	試験名	スコア・級		受験時期				
留学希望大学	日本語	大学名	学部・学科名	専攻・コース名				
	英語							

※ 留学を希望する大学において、所属を希望する学科・専攻・コースの詳細な名称を日本語・英語の両方で記入すること。

海外渡航(在留)歴	開始時期	期間(年、月、週、日)	渡航先(国・地域)	目的(留学、観光など)
	年	月		
年	月			
年	月			
年	月			
受賞・入選歴	年	月		
	年	月		
	年	月		

※ 記入欄が不足する場合は、別紙(A4サイズ)に記載したうえで、添付してください。

多摩美術大学 交換留学応募 志望理由・履修計画書

(1,000 字以上 1,200 字以下で記入すること)

西曆 年 月 日

多摩美術大学学長 殿

所 属

役 職

氏 名



推 薦 書

[所 属]	美術学部	学科
	美術研究科	専攻
[学生氏名]		
[生年月日]	西曆 年 月 日	日生

推薦書作成の先生方へ

「別紙参照」と本様式に記入いただき、別途作成した推薦書を添付して提出いただいてもかまいません。

保証人同意書

年 月 日

多摩美術大学学長 殿

私は、私が保証人となっている

_____学部・研究科 _____学科 _____専攻・コース

氏名 _____の外国留学に同意し、留学に係る一切の事柄について

責任を負います。

住 所 :

電話番号 :

氏 名 :

①